

第1回「あおもり家庭教育アドバイザー養成講座」

東青地区:6月10日(木)県総合社会教育センター 受講者8名(オンラインを含む)

三八地区:6月24日(木)八戸市視聴覚センター・児童科学館 受講者9名

この講座は、地域における家庭教育支援体制を整備するため、家庭教育支援者としての理論や心構えを学ぶ講座を開催するとともに、そこで養成した人財を「あおもり親楽プログラム」を使う研修会等に派遣することを趣旨として行っています。家庭教育支援者を目指す人及び活動中の人、家庭教育支援に関心のある人、市町村の家庭教育担当者等を対象に、年間で全6回、家庭教育支援についての講義・演習で構成しています。

今年度は東青地区と三八地区の2地区を会場に開催します。このページでは、本講座における各回の概要を発信して参ります。

午前：開講式、

オリエンテーション

①講義「本県における家庭教育の現状と課題、そしてその解決に向けて」

②本事業についての説明

開講式の後、オリエンテーションとしてアイスブレイク(学習者の緊張をほぐすために行う活動)をと自己紹介をしました。今回は、後出しじゃんけんを受講者みんなで行いました。簡単なゲームですが、お互いの緊張がほぐれて和やかな雰囲気になりました。

自己紹介では、今までの家庭教育支援に関わりたいたいと思っただきっかけや、現在の活動のことを紹介し合いました。

休憩をはさみ、教育活動支援課 課長より「本県における家庭教育の現状と課題、そしてその解決に向けて」と題し講義をしました。親の側、子どもの側とから現状と課題を整理し、その解決に向け、本講座を含め県が行っている家庭教育支援事業について組織的に展開していることを説明しました。



【講義要旨】

- 核家族化、共働き世帯やひとり親世帯の増加に伴い、親が祖父母などから子育てに関して学ぶ機会も少なくなっており、相談・協力できる人が家族にいないなど、親だけで子育てを担わなくてはならない現状がある。
- 子どもたちの傾向として、自己肯定感が低い、自然の中での体験が全国よりも低い、肥満傾向が高い等がある。
- これら課題解決のためには、社会全体で、家庭教育を応援していく取り組みが必要である。

受講者からは、「青森県の置かれている現状をデータで見ることができ、勉強になりました。県独特の問題なども意識しながら支援につながられたらと思いました。」「子どもたちの今、家庭教育を取り巻く現状には、各家庭における経済格差が否めないと改めて知りました。」などの感想がありました。

また、本講座の趣旨や内容、年間の予定について、職員より説明をしました。



午後：講義「家庭教育支援者の役割・心構え」

講師 特定非営利活動法人はちのへ未来ネット 代表理事 平間 恵美 氏



平間氏による講義は、「家庭教育支援者の役割・心構え」と題し、家庭教育とは何か、自分たちにできることには何があるかを、平間氏の経験をもとに受講者に語りかけ、本当の支援とは何であるかを気付かせてくれるものでした。本講座の初回にふさわしく、今後家庭教育支援者として地域の子育て支援に携わりたいという方への意欲をさらに高めていただきました。

受講者からは、以下のような感想が寄せられました。

【講義趣旨】

- 理解ある人の支援とは…
 - ・理解しようとする気持ち
 - ・子育て世代の通訳
 - ・同じ地域の仲間という気持ち
- 支援者となったとき、どう向き合うか
 - ・話を聞く(傾聴)
 - ・共有と共感(受け入れる)
 - ・そうなんだね、頑張ったね(肯定)
 - ・解決しなくてもかかわる姿勢
- 地域で子どもが、みんなが幸せに安全に生活するためには、「少数の専門家より多数の理解のある人」が必要である。
- ネットワークの力で子どもと親の「育ち」を応援しよう。子どもと親が希望と安心を持って幸せに暮らせる地域作りがみんなの幸せにつながる。

【受講者の感想】

- ・平間先生のエネルギッシュなお話により、あっという間に時間が過ぎました。ネットワークの大切さ、人材の有効活用、支援者の立ち位置や限界など、多々学ぶことができ大変良かったです。
- ・平間先生の今の活動の原点を聞くことができ、私も自ら身近なところから行動に移したいと思いました。子どもたちの力に、そして、親たちの力になってあげたいと思いました。
- ・パワー溢れるお話で元気をもらえました。交流することの大切さがわかり、自分でも何か集まれるイベントに参加したり、立ち上げたりしたいと思いました。
- ・平間先生のお話の中にありました「つながりは作れる」の言葉が印象に残りました。親子のつながりが、それぞれの家族の中で築けるようにお手伝いできる人になりたいと改めて思いました。

今回は、「子どもをもつ親の気持ち」と題し、青森県八戸児童相談所こども相談二課 課長 山田憲子 氏による御講義と、演習として家庭教育支援のためのテキスト「あおもり親楽プログラム」の活用について学ぶ予定です。

なお、本講座は全6回から構成されている講座ですが、単発での受講もお受けしております。ご興味のある方は当センター教育活動支援課（017-739-1270）まで、ご連絡ください。

